

4 月	第 1 週	【主題名】 ガイダンス
【資料名】 心のノート		【内容項目】
【ねらい】 表現することがお互いを理解しあう事につながることを知り、道徳の学習での心構えをつくる。		
【主題構成の理由】 歌の歌詞一つをとっても、一人ひとり印象に残る場所がちがう。それを聞き合うことで、クラスメイトのことが少し分かったり、意外な発見があったりする。発表する事でみんなの気持ちに近づくことができるという体験を通して、道徳の時間を新しいことを知る時間になりたいと考え、ガイダンスを設定した。		
展 開 の 大 要	<p>○CD「心のノート」(大野靖之)を聴く。</p> <p>○心にグッときたところはどこだろう。 歌詞カードを配布し、アンダーラインを引かせる。</p> <p>○どこに線を引いたか、発表しよう。 (展開1)</p> <p>○心のノート p. 8、9を見て、「気になる」「のぞいてみたい」鍵穴に印をつけましょう。 (展開2)</p> <p>○道徳の時間のついて、3つの約束を確認する。 ・表現する ・共に考える ・新しいことを知る (終末)</p> <p>○道徳性アンケートにこたえましょう。</p>	
関 連	心のノート8・9ページ 学活(学級目標づくり)	
授 業 改 善 の た め に	2枚のアンケートは、時間がかかるが、読みながら一つ一つ行なう方法が良い。アンケートの項目については、意識と行動を併記したものの方が答えやすく、「気持ちはあるができていない」といった自分自身のふりかえりにもなるのではないかと。	

4 月	第 2 週	【主題名】理想の実現
【資料名】 心訓 (福沢諭吉)		【内容項目】 1 - (4)
【ねらい】自分の価値観を見つめ、他者との価値観の違いから、今後の価値観の高揚を図ろうとする心情を養う。		
【主題構成の理由】中学2年生になると、自我の意識が芽生え、自分の価値観から物事をとらえようとするが、それは狭い世界で得た価値観である場合も多い。わずかな人数のクラスであっても、価値観は多様であり、知る事であらたな気づきが生まれ、より高い価値観や理想を描こうとするのではないかと考え、この主題を設定した。		
展 開 の 大 要	<p>(導入)</p> <p>○楽しいことは何だろう。</p> <p>○「一番」といったら何を選ぶだろう。</p> <p>(展開)</p> <p>○今日は「世の中で一番」を考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに記入する。</li> <li>・教師が選んだものについて短冊に記入し、黒板にはる。</li> </ul> <p>◎自分の短冊を発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私が考える「世の中で一番○○な事は、<input type="text"/>です。どうしてそう思ったかということ・・・からです。」(拍手)</li> <li>○残り6つの中から自由に2つ選んで短冊に記入し、黒板にはる。</li> <li>○ワークシートの下段にあらためて記入する。</li> </ul> <p>(終末)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○福沢諭吉の心訓のプリントを見る。</li> <li>・あくまでも資料の一つであり、正解ではないことに留意する。</li> <li>○ワークシートとプリントをファイルに綴じる。</li> </ul>	
関 連	心のノート12・13ページ	
授 業 改 善 の た め に	<p>保護者も、生徒とともに考え、発表した。生徒の感想からは、「大人の人の意見が聞けてよかった」と講評であった。生徒では気づきにくい意見や、親ならではの意見も出た。</p> <p>後の発表は、3つでもよかった。</p>	



4 月	第 3 週	【主題名】望ましい生活習慣
【資料名】1 ばなしの女王 (中学道徳2「明日をひらく」)	【内容項目】1－(1)	
【ねらい】望ましい生活習慣を身につけ、節度のある生活をしようとする態度を育てる。		
【主題構成の理由】中学生の時期は、ともするとこれまで身につけてきた基本的な生活習慣に対して、外面的に反発や抵抗を示すこともある。しかし、心身の健康の増進や生涯にわたって学ぼうとする意欲や習慣、時間や物を大切にするなど、望ましい生活習慣を身につけることが、自分自身の将来を豊かにするものであることを自覚させたい。		
展 開 の 大 要	<p>1 自分の身の回りの整理整頓について、発表し合う。 ○家の人や学校で先生に注意されることはあるだろうか。 ・宿題をやりなさい。勉強しなさい。・整理整頓をしなさい。・手伝いをしなさい。 ○注意された時、どんな気分になるだろう。</p> <p>2 「ばなしの女王」を読んで話し合う。 ○「ばなしの女王」というニックネームについて、作者の考えはどのように変化していったか。  ○「おふろの不始末」について、作者はどのように思っているのか。  ○学校で「着がえがない」ことに関して、作者はどのように考えたか。  ◎作者が、「ばなし」を直そうと決心したのは、どのような気持ちからだろうか。</p> <p>3 節度ある生活をするために必要な心構えについて話し合う。 ○自分が身につけておきたいことを考えてみましょう。</p>	
関 連	心のノート 14 ページ・15 ページ 技術・家庭、学級活動	
授 業 改 善 の た め に	資料が身近であるため、生徒はすんなりと資料に共感できた。「自分が身につけておきたいこと」という形で授業をまとめた。ただ、目標は「態度を育てる」となっているので、この学習活動では不十分なのではないか。授業についての発言は学級通信でまとめて発行した。	

5 月	第 1 週	【主題名】 自主自律の精神
【資料名】 捨て猫の運命		【内容項目】 1—（3）
【ねらい】 自分の行為が及ぼす結果について深く考え、責任ある行動をとろうとする態度を育てる。		
【主題構成の理由】 人間としての誇りをもって生きていくためには、自ら考え、判断し、実行の行為の結果に責任をもつことが求められる。したがって、深く考えずに不和雷同したり、責任を他人に転嫁したりするのではなく、自らを律することができなければならない。		
展 開 の 大 要	<p>1（子猫の写真を見て）下校途中でこんな猫が捨てられていたら、みんなはどうするか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 拾って帰る           ・ 飼えないのでそのままにしておく           ・ かくれて飼う</li> <li>・ 人に見つかりそうなところに場所を移動させる</li> </ul> <p>2 資料を読んで考える</p> <p>①私が、お母さんに子猫を「責任をもってそだてる」と約束したとき、どんな気持ちだったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分で面倒を見るぞ。           ・ 捨てられたままだと、かわいそう。</li> <li>・ 私がなんとかしてあげないと。</li> </ul> <p>②子猫の面倒をみると言っていたのに、なぜ、次第に面倒をみなくなったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 面倒くさくなった。           ・ 世話が思ったより大変だった。</li> </ul> <p>③動物を飼う責任とは、何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人まかせにしない。           ・ 自分でしっかり世話をすること</li> </ul> <p>④私は、ダンボールに入れられ、捨てられた子猫をどうするべきなのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ そのまま立ち去る</li> <li>・ 連れて帰る</li> </ul> <p>資料の続きをよむ</p> <p>⑤「動物を飼う前に考えなければならないこと」とはどんなことなのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最後まで責任を持つことができるか考えること。</li> <li>・ よく考えて行動すること</li> </ul> <p>3 心のノート p 2 4 を見て、物事を深く考えない自分がいないか振り返る。</p>	
	関 連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心のノート（p 2 4）</li> </ul>
授 業 改 善 の た め に	<p>③で動物を飼う責任について、もっと時間をかけて押さえるべき。</p> <p>3年生は、聞く力も話す力もあるのだから、生徒の言葉が足りないところを指導者が漬けてしまってはよくない。時間がかかっても生徒同士の話し合いから深めていくべき。</p>	

5 月	第 2 週	【主題名】思いやりの心
【資料名】2 やさしさ、いっぱい (中学道徳2明日をひらく)	【内容項目】2-(2)	
【ねらい】だれに対しても思いやりの心を持ち、それを具体的な行動で示そうとする意欲を育てる。		
【主題構成の理由】見知らぬ人に手助けをしたり、援助の言葉をかけるということは、思っているよりもなかなかできないことである。中学2年生のころは、学級内でもグループ化しやすく、仲の良い友だち意外は思いやりを持って接することも少ない。しかし、人間は多くの人々とのかかわり合いの中で生きている。社会生活を営む上で、思いやりの心を持って人と接することは、だれもが心掛けなければならないことを認識させたい。		
展 開 の 大 要	<p>1 「今時の若い人は」というあとに言葉が続けよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おしゃれだ           ・礼儀がなっていない。</li> <li>・自分のことしか考えていない。</li> </ul> <p>2 「やさしさ、いっぱい」を読んで話し合う。</p> <p>①これを読んで、いいな、と思ったところはどこだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・制服の生徒が、彼女の腕をとって開くドアの前に立たせたところ。</li> <li>・「わたし」が彼女の腕をとってあげたところ。</li> <li>・二人の女子高校生がさっと席をあけたところ。</li> </ul> <p>②作者が感じた若者のすばらしさとは、どのようなことだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が出来なかった事を、意外なことに男子高校生がしてあげたから。</li> <li>・席など譲りそうもない女子高校生がさっと席をあけてくれた。</li> <li>・今時の若い人も、周囲の人のことを考えて行動する。</li> </ul> <p>③親切には真心をこめて「ありがとう」と言えるこの若い女性はどうの人だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目が不自由でも、それに負けないで積極的に生きる勇気ある人だ。</li> </ul> <p>④親切にしようと思っても、なかなか実行できない場合があるのはなぜだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・照れくさいから。           ・親切ぶっているとかわれたいから。</li> </ul> <p>3 詩「夕焼け」を読み、どのような思いでいれば親切な行動がとれるか話しあう。 この時間に感じた事を発表しよう。</p>	
関 連	心のノート44. 45ページ	
授 業 改 善 の た め に	④の発問に、生徒の本音が表れた。ここでまとまりかけたことを生かすには、「詩」は必要なかったのではないかと、1の発問ははずしたが、中心発問の前に使った。	

5 月	第3週	【主題名】自分を好きになる
【資料名】虎	【内容項目】1 - (5)	
【ねらい】 自分を見つめ、自分のよさを生かしさらに伸ばしていくために前向きに取り組もうとする実践意欲を培う		
【主題構成の理由】 新学年になり約2ヶ月、1年生からの関係を基本に、人間関係は落ち着きつつある。一人一人がお互いのよさや個性、そして小学校からの変化や成長を認め合う雰囲気がある。反面、さらに自己を向上させようとする意欲や態度に乏しいところも見られる。自己を高めようとすることで個性は発揮され、伸張されるものであることを教えてくれる資料を通して。絶えず個性を磨き伸ばしていくことの大切さや、そうした前向きな取り組みの中で、より充実した学校生活を見つける機会としたい。		
展 開 の 大 要	1. 自分の個性について考える。	○自分らしさってどんなことだろう。自分の特徴を考えてみよう。 ・明るく話し好きだけどおっちょこちょい。 ・スポーツが得意。 ・読書が好きで、たくさん本を読む。 ○今日の資料は、ある役者のお話です。みんなならどんな役がしたい？ ・主役 ・二枚目 ・脇役 ・スーパーマン
	2. 資料を読んだで考える	○虎の役を振られた八輔はどんな気持ちだったのだろうか。そんな八輔をどう思うか。 ・不満であり、悲しくもあった。 ・情けなく、息子にも申し訳ない。 ・馬鹿にされているようで腹立たしくもある。 ○八輔が虎になりきろうと決意したのはどんな考えからか。 ・どんな役であれ、うまく演じさえすれば立派な役者だ。 ・虎を演じられる役者は日本中に自分しかいないと言われるくらいうまく演じたい。 ○観客をこれほど感動させたものはなんだろう。 ・虎になりきった八輔の演技のすばらしさから。 ・虎一役にかけた八輔の気迫や強い思いが観客に伝わったから。 ◎八輔はなぜ涙を流したのだろうか。 ・自分のもてるすべてを發揮して観客を感動させることができたから。 ・自分の個性を生かした自分にしかできない虎の演技ができたから。
	3. 八輔から学んだことをまとめる。	○八輔の生き方から学んだことをまとめてみよう。ワークシートに記入
関 連	心のノート pp. 30～33	
授 業 改 善 の た め に		

5 月	第 4 週	【主題名】夢を持ち続ける生き方
【資料名】ロスタイムのつづき (出典 あかつき「中学生の道徳2 自分を考える」)		【内容項目】1－(4)
【ねらい】挫折に絶望することなく、理想を求め、人生を豊かに生きようとする実践意欲を培う。		
【主題構成の理由】中学生の時期は、自分の将来に関心を持ち始め、理想を求める傾向が強くなってくる年頃である。しかし、その理想は現実についての十分な認識に立っているものではなく、わずかな失敗や挫折で、今まで目指してきたものを放棄してしまう傾向が強い。実際は、現実と理想がイコールではないのだが、それを追い求めることこそが、自分の生涯を豊かにするのではないかと考え、主題を設定した。		
展 開 の 大 要	<p>1 事前記述の発表をきく</p> <p>○あなたが将来なりたいものやしたいことは何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士 ・お金持ち ・プロ野球観戦</li> </ul> <p>2 「ロスタイムの続き」を読んで、話し合う。</p> <p>○自分がエースストライカーだったとして、このような場面ではどんな行動をとるだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・監督に文句を言う。 ・帰る。 ・腹がたつが、黙ってベンチに下がる。</li> <li>・ベンチを蹴って出て行く。</li> </ul> <p>○記者会見で、「こういうことは今までに何度も経験してきた。・・・」と言ったカズの気持ちを考えてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・悔しい。でも次こそ。 ・残念だけど、あきらめないぞ。</li> </ul> <p>○筆者がこれまで「もう挫折や絶望はまっぴらだ」と、大きな挑戦を避けてきたのはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・努力したって、報われないから。 ・また挫折や絶望を味わうのはまっぴらだから。</li> <li>・挑戦しても、どうせ夢なんて叶わない。</li> </ul> <p>◎筆者が、「胸に込み上げてくる熱いものをかんじた」のはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カズの生き方を見て、もっとがんばろうと思った。 ・自分がこのままじゃ、いつまでたっても成長しない。</li> <li>・前を向いて生きよう。</li> </ul> <p>3 心のノートを読み、記入する。</p> <p>○「あなたの夢や理想を実現するために、いまどうすることが大切なんだろう」の欄に、自分自身のことをまとめてみよう。</p>	
関 連	心のノート 28ページ 内容項目1－(3)、1－(5) 特活「自分の進路」部活動等	
授 業 改 善 の た め に	指導主事要請訪問。授業にあたり、視点を筆者に置くか、カズに置くか非常に迷った。実際の授業では筆者に視点をあてたものを実施した。最後にカズの映像を使用したのが、生徒は食い入るように見入った。「ロスタイムのつづき」と題した筆者の心情をとらえられたかどうか。ここを発問にしても良いのではないかと。そう考えると、2の最初の発問は必要なかったのではないかと。	

6月	第1週	【主題名】 他に学ぶ姿勢
【資料名】 「一番乗り」たけいち	【内容項目】 2－(5)	
【ねらい】 他の人がもつ自分にはないよさを認め、広い心で謙虚に学ぼうとする心情を育てる。		
【主題構成の理由】 自分の考えに固執し、クラスメイトが自分にはないよい面をもっているとき、素直にそれを学ぼうとすることのできる生徒とできない生徒がいる。また、自分が孤立しないために何事も他所に合わせて付和雷同する生徒もいる。自分の意見を持つことは大切であるが、多くの人のものの見方や考えかたに心を開くことができれば、これからの人生の幅を広げることになるということ伝えていきたい。		
展 開 の 大 要	○人の言動にハッと気づいたり、なるほどと思ったり、これを生かそうと考えたりしたことがあるだろうか。(心のノート 57 ページに記入)	
	○「優越感に浸りながら」廊下を歩いていたとき、筆者はどんなことを考えていただろう。 ・これでたけいちに勝てる。 ・たけいちの驚いた顔がめにかぶ。	
	○一時間早く登校した筆者は、たけいちに「随分早いんだね」と言われて、どう感じただろう。 ・くやしい。 ・ばかにされたみたいだ。 ・次こそ負けないぞ。	
	○新聞配達をしているたけいちに「随分早いんだね」と言われたとき、筆者はどうして面食らったのだろう。 ・たけいちが新聞配達をしているなんて知らなかった。 ・だから、たけいちには早かったのか。 ・たけいちはずごい。	
	◎たけいちが、筆者の中で「ヒーロー」になったのはどうしてだろう。 ・たけいちにはかなわないと思ったから。 ・たけいちには自分のできないことができるというあこがれ。	
○この時間に考えたことをまとめてみよう。 <心のノート 56, 57 を読む>		
関 連	心のノート p.56～57 内容項目 1－(5)、4－(1) 特別活動	
授 業 改 善 の た め に	尊敬の念がないと他者に学ぶ事はできない。人から学ぶという観点から、導入の発問を入れてみたが、なかなかイメージしにくかったようである。授業者があらかじめ体験談を話すなどして、イメージを持たせ、事前記述させたほうがいろいろ出ておもしろかったかもしれない。	

6 月	第 2 週	【主題名】 家族の深い愛
【資料名】 10 美しい母の顔 (出典 あかつき 「中学生の道徳2 自分を考える」)	【内容項目】 4－(6)	
【ねらい】 家族の深い愛情によって育てられたことに感謝し、より充実した家庭生活を築こうとする態度を育てる。		
【主題構成の理由】 自分があるのは、祖父母や父母があり、そのかけがえのない子どもとして尊い生を授かり、深い愛情をもって育てられたからである。人間には、このような心から理解し合え、自分を受け止めてくれる存在が必要である。指導にあたっては、自分を支えてくれる家族の深い愛情に気づかせ、感謝し、自らが家族の一員として積極的により充実した家庭生活を築こうとする態度を育成することが大切である。		
展 開 の 大 要	<p>1 家族についてふり返る。</p> <p>○「<del>家族</del>」に言いたいことはありますか。 ○いつも家の人になんか注意される？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日ごはんを作ってくれるのに残してごめんなさい。 ・毎朝起こしてくれてありがとう。</li> </ul> <p>2 「美しい母の顔」を読んで、話し合う。</p> <p>○母親はどんな気持ちで「友達を呼んだら？おいしいケーキを作ってあげるわよ」と言ったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・呼ばれるばかりでは娘が肩身の狭い思いをしているのではないか。</li> <li>・にぎやかな誕生日にして娘を喜ばせたい。</li> </ul> <p>○学校で母親を怒鳴り、振り向かずに教室にかけこんだときの私の気持ちを考えてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あれほど来ないでくれと言ったのに、という怒り。・友達に見られなかっただろうか。</li> <li>・友達に見つからないようにさっさと帰ってよ。・友達に悪口を言われたらどうしよう。</li> </ul> <p>◎父の話を聞いて、私はあとからあとから流れてくる涙を止められなかったのはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・真実を知ってショックだったから。</li> <li>・私のために真実を告げなかった母の深い思いを知ったから。</li> <li>・何も知らずに母を責めていた自分が情けなかったから。</li> <li>・母への感謝の気持ち。</li> <li>・これまでのことをあやまりたい。</li> </ul> <p>○私が母親の顔をどんなきれいな顔より美しいと思えるのはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分を犠牲にしてまで自分を守ってくれた母を誇りに思っているから。</li> <li>・私への愛がいっぱいいつまっている顔だから。</li> </ul> <p>3 心のノートを読み、記入する。</p> <p>○今日の学習で感じた事や考えたことを「家族へのメッセージ」としてまとめてみよう。</p>	
関 連	心のノート102、103ページ 内容項目2－(2)、3－(1) 社会科公民(個人と社会生活)、親子の手紙(PTA活動)	
授 業 改 善 の た め に	指導主事計画訪問。1番目の発問は、家族から注意される事を聞くことで、発言し易い雰囲気をつくった。中心発問では、多様な意見が出た。「母が守ってくれたから、今自分が生きている」先週家族に対して投げやりな発言をした生徒が答えた。ただ、板書で生徒の発言が分かり易く分類されていなかった。ダイナミックな板書となるよう指導を受ける。「家族へのメッセージ」までたどりつけなかった。時間配分に注意したい。心のノート102・103ページを見て、「かっこいい！」という発言があった。自分の家族にふり返らせる工夫を。	

6 月	第 3 週	【主題名】 礼儀の大切さ
【資料名】 一枚のはがき (中学道徳 2 明日をひらく・東京書籍)		【内容項目】 2 - (1)
<p>【ねらい】 礼儀の基本は、相手を一人の人間として認め、相手への敬愛を具体的に示すことである。礼儀は人間関係を良好にし、生活に安定感をもたらすものであるが、ときと場合に応じた言動ができるように中学生のうちに相手の人格を尊重する内面的な指導を十分に行なう必要がある。</p>		
<p>【主題構成の理由】 本校の生徒は、毎朝あいさつができる生徒が多い。しかしながら、役目ずましのよう感じられるあいさつもみられる。心と形が一つになってはじめて礼儀が成り立つのであり、礼儀の本質が人間尊重の精神にあることを十分に理解させたい。学校に慣れ、緊張感も薄れてきつつあるこの時期に、今まで身につけてきた言葉づかいや行動の仕方をもう一度見直し、礼儀の意義を再認識し、確かなものとして身につけさせたい。</p>		
展開の概要	<p>○お礼や感謝の気持ちを言われたことで印象に残っていることはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家の人の肩もみをして「ありがとう」と言われた。</li> <li>・自分が一生懸命選んだ誕生日のプレゼントを喜んでもらった。</li> </ul> <p>○三日間もてなしをうけたあと、おじさんと峠の上で別れたとき、「わたしたち」はどんな気持ちだっただろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おじさんのおかげで楽しい思い出ができた。ありがとう。</li> <li>・親切にしてもらってうれしかった。</li> <li>・荷物まで運んでもらって申し訳ない。</li> </ul> <p>◎おじさんからはがきを読んで、「わたし」にどのような気持ちがわき起こったのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おじさんが大変な思いをしていたことを分かっていなかった。</li> <li>・自分では感謝の気持ちを持っていたのに・・・。</li> <li>・感謝の気持ちが十分に伝わっていなかったのだな。</li> </ul> <p>○これから、みなさんはいろいろな人にお世話になると思います。これからの生活の中で、礼儀を大切にしていくにはどんな心構えが必要だと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思いを形にして、伝えることが大切だ。</li> <li>・自分からすすんで感謝の気持ちを伝えたい。</li> <li>・相手の気持ちを理解して自分の思いを伝えたい。</li> </ul>	
関連	<p>心のノート 38・39 ページ わく・ワーク体験</p>	
授業改善のため	<p>中心発問での生徒の意見を分類して板書できなかった。おじに対して申し訳ない気持ち、自分が情けない気持ちを工夫して板書したかった。</p>	

6 月	第4週	【主題名】謙虚に学ぶ
【資料名】失敗？それが今の君だ (中学道徳2明日をひらく・東京書籍)		【内容項目】1－(5)
【ねらい】自己を見つめ、他の人の忠告や助言に謙虚に耳を傾けて、自己の向上に生かそうとする真情を育てる。		
【主題構成の理由】人間は誰でもよりよく生きたいと願っている。一人ひとりが自らの人間としての良さを自覚し、これを伸ばしていこうとすることはとても大切な事である。しかし、中学生になると、自分自身の価値観にとらわれ、自分自身を振り返ったり、人からの助言や忠告を受け入れないこともある。謙虚さを持ち、他の人からの意見や忠告を自らの人間としての生き方に生かし、さらに自分の良さを伸ばしていこうとする態度を育てたい。		
展 開 の 大 要	<p>○心に残る話をされたことはあるだろうか。それはどんなときで、どんな気持ちになっただろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が悪い事をしたときにしかってくれた。</li> <li>・部活動でがんばったときに、今までの努力をほめてくれた。</li> </ul> <p>◎「失敗作とやらがこなごなにくだけ散るまで見すえよ」といっているが、どのような意味だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の失敗は、ごまかしても根本的には何も変わっていない。</li> <li>・失敗があるから、改善点分かる。</li> <li>・失敗は、生かせば次の成功につながる。</li> </ul> <p>○常に向上を目指していくには、どのようなことを大切にすれば良いだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の行動や結果に対して、常に反省する心を持つようにする。</li> <li>・いくら忠告しても、受け取るほうがその気持ちがなければその気が生かされない。アドバイスや意見に耳を傾ける気持ちが大切である。</li> </ul>	
関 連		
授 業 改 善 の た め に		

7 月	第 1 週	【主題名】 生命の尊重
【資料名】 6 妹に 中学道徳 2 明日をひらく (東書)		【内容項目】 3 - (2)
【ねらい】 かけがえのない自他の生命の尊さを理解し、よろこびと感謝の気持ちを持って生きようとする心情を育てる。		
【主題構成の理由】 教室の中で「死ね」という言葉が軽々しく使われることがある。命を軽んじているという意識はさほどないであろうが、命の重さをどれだけ自覚しているかは疑問が残る。親から自分が生まれたときの様子を教えてもらい、生命誕生の神秘さ、今生きていることの不思議さやありがたさを感じ取ることによって、自分は大切だ。だから同じように他の人も大切だと、自他の生命をいとおしむ心情を育てたい。		
展 開 の 大 要	<p>○自分が生まれた時の様子について、発表しよう。(事前に心のノート 68 ページを親の人に記入してもらおう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・難産で、帝王切開の結果生まれてきた。</li> <li>・逆子でお産のとき大変だった。</li> </ul> <p>○「妹に」を読んでもっとも強く感じた部分はどこだろう。また、それはどうしてだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・父さんは「未来」と名づけた。元気で未来を生き抜くようにと、の部分。自分の名前の由来を思い出した。</li> <li>・みんなで心配しながら待ち望んでいた。私の兄弟が生まれる時もそうだったから。</li> <li>・あなたの重さがわが家の愛の集まりのように思えた。軽いんだけど、重みがあるように感じた。</li> </ul> <p>◎「わたし」をはじめとする家族の妹への言動には、妹の誕生に対するどのような思いが込められているのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい命を大切にしていこうという気持ち。</li> <li>・自分に注がれた愛情を、妹にも注ぎたい。</li> <li>・妹の誕生から、あらためて命の大切さに気づいた。</li> <li>・命って、こんなにたくさんの人に支えられているんだな。</li> </ul> <p>○生命の尊さ、生きる喜びを大切にするためには、どのような気持ちが必要だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生まれてきた事や、ここまで育ててくれたことに感謝したい。</li> <li>・自分の命を価値あるものにするために、一日一日を大切にしたい。</li> </ul>	
関 連	4 - (6) 家族愛 心のノート 68 ページ、親子の手紙	
授 業 改 善 の た め に		

7 月	第 2 週	【主題名】 誠意ある行為
【資料名】 金語楼さんのこと		【内容項目】 1 - (3)
【ねらい】 なにが正しく、何が誤りかを自ら判断し、自分や社会に対して常に誠実に生きていこうとする心情を養う。		
【主題構成の理由】 自ら考え、判断し、実行し、自己の行為の結果に責任を持つことが道徳の基本である。したがって自らの規範意識を高め、自らを律することができなければならない。小さな行為であっても、自分で考え、自分の意思で決定したものであるとの自覚に至れば、人間はそれに対して責任を持つようになる。中学生の時期は、自我に目覚め、自主的に考え行動することができる一方、自由の意味を履き違えたり、他人の言動に左右されることも少なくない。自分や社会に対して常にせいじつでなければならないことを自覚し、人間としての誇りをもった責任ある行動がとれるように指導したい。		
展 開 の 大 要	<p>○柳家金語楼さんの説明を聞く。</p> <p>○金語楼さんのすばらしいところはどんなところだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の体よりも、お年寄りの慰問のことを大切にしている。</li> <li>・具合の悪さを周囲に感じさせない。</li> <li>・「無料出演だからといって取りやめはできない」といったところ。</li> <li>・「わたしは未熟な役者、死ぬまで修業」といって謙虚に生きているところ。</li> </ul> <p>○高熱で具合が悪くても、予定通りの慰問を指示し、慰問をおこなった金語楼さんには、どんな気持ちかはたらいていたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が具合が悪いということで、相手に迷惑をかけてはならない。</li> <li>・具合が悪いことを顔に出して、相手に不愉快な思いをさせてはならない。</li> </ul> <p>◎「無料出演だからとりやめない」という言葉が、作者の人生の支えとなったのはどうしてだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・むしろお金をもらわないからこそ、信頼を大切にしようとした金語楼さんの生き方に影響を受けたから。</li> <li>・自分の信念をつらぬき、他の人も裏切らない誠実な生き方に心うたれたから。</li> </ul> <p>○今日考えたことを話し合ってみよう。</p>	
関 連	4 - (5) わく・ワーク体験	
授 業 改 善 の た め に		

9 月	第 1 週	【主題名】人々のために
【資料名】われ、ここに生きる (中学道徳2明日をひらく・東京書籍)		【内容項目】4－(5)
【ねらい】働くことの意義を自覚し、進んで世のため尽くし、公共の福祉に貢献しようとする心情を育てる。		
【主題構成の理由】職業は、自らの目的を実現するという面もあるが、それによって社会につながり、社会に貢献するという面がある。互いに支え合い、助け合う姿を目の当たりにした夏休み中の職場体験学習をを思いおこし、誠実に自らの職業に従事することによって、世の中のために貢献しようとする気持ちを育てることが大切である。		
展 開 の 大 要	<p>○病気やけがをして困ったことはあるだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・腹がいたくて困った。</li> <li>・夜に高い熱が出て、困った。</li> </ul> <p>○道下医師は、霧多布で診療しながら、どのようなことを考えているのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早く札幌に帰りたい。      ・早く大学に戻って勉強したい。</li> <li>・自分は村の人に頼りにされているのだな。</li> <li>・5年目になって、同級生が博士号を取って、あせった。</li> <li>・でも、博士号をとって診療を続けようと思ったのは、村の人のことを考えていたのだと思う。</li> </ul> <p>◎道下医師が、霧多布にとどまって診療を続けようと思ったのは、どのような気持ちからか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・村の人々が懇願したから。</li> <li>・医師としての責任を感じたから。</li> <li>・村の人に頼りにされて、自分にしかできない仕事だと思ったから。</li> <li>・村の人とのつながりができたから。</li> </ul> <p>○自分が仕事をしていくとき、どんな気持ちでやりたいだろうか。</p>	
関 連	心のノート 98. 99 ページ 2－(2) わく・ワーク体験	
授 業 改 善 の た め に		

9 月	第 2 週	【主題名】友に学ぶ
【資料名】クマのぬいぐるみとわたし		【内容項目】2 - (3)
【ねらい】友情の尊さを理解し、お互いに相手の立場になって行動し、励ましあいながら向上しようとする態度を育てる。		
【主題構成の理由】中学生は、友達関係が大きな意味を持ち、同世代によき理解者を求めたり、心の底から打ち明けて話せる友達を得たいと願ったりする気持ちが高まってくる。しかし、ときには相手に無批判に同調したり、自分が傷つくことを恐れ、一定の距離を置く者もいる。さまざまな悩みを持つ時期だけに、互いに励まし合い、互いに向上し合うような友達関係とはどういうものなのかを考え、実際につくっていきたいと考える。		
展 開 の 大 要	<p>○あなたにとって、友達とはどういう存在だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・悩みがあるとき、相談に乗ってくれる。</li> <li>・いっしょにいると楽しい。</li> <li>・なんでも気軽に話せる。</li> </ul> <p>○「わたし」は、ホワイトとふだんどんな気持ちで話していたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家に帰ってからは、自分の友達、話し相手のような気持ちだった。</li> <li>・相談相手として、悩みを聞いて欲しいという気持ちで接していた。</li> </ul> <p>○重い足どりで帰宅した「わたし」は、どんな気持ちだっただろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が勇気を出したために逆に友達を失ったのではないだろうか。</li> <li>・どうしてあゆみはわたしの言った事を理解してくれなかったのだろうか。</li> </ul> <p>◎クマのぬいぐるみによって、「わたし」のあゆみに対する気持ちはどう変わっただろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あゆみには本当の気持ちを出して分かってもらおうという気持ちになった。</li> <li>・二人の関係を気遣って自分をおさえるのではなく、自分の意思をはっきり表していこうという気持ちに変わった。</li> </ul> <p>○友達とつきあう中で大切な事はどんなことだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に合わせるのではなく、自分の考えもはっきり言って、お互いに分かり合うこと。</li> <li>・お互いに向上しあうような関係が大切だ。</li> </ul> <p>◎クマのぬいぐるみによって、「わたし」のあゆみに対する気持ちは、どう変わったのだろうか。</p>	
関 連	心のノート 46・47 ページ 1 - (5)	
授 業 改 善 の た め に		

9 月	第 3 週	【主題名】 誠実な心
【資料名】 タッチアウト	【内容項目】 3 - (3)	
【ねらい】 人間の心には、弱さと醜さと誠実さが同居することに気づき、誠実さを励まし、気高く生きようとする心情を育てる。		
【主題構成の理由】 「だれも見えていないから」「気づかれなければ」という気持ちを持ち、易きに流されてしまった経験は誰にでもある。しかし、そんなときは良心に苦しみ、自己嫌悪に陥る。人間にはは矛盾を抱えながら生きている。誰でも弱さや醜さがあり、それを克服しようとする誠実さも持っていることを自覚し、自分を励ましながら、自分に恥じない生き方をしようとする心情を育てたい。		
展 開 の 大 要	<p>○これまでに事実を隠したり、ごまかしてしまったり、嘘をついてしまったことはあるだろうか。</p> <p>○サヨナラのランナーを二塁に背負った時の「ぼく」の気持ちはどうだっただろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぜったいにホームには返さない。</li> <li>・延長戦にもつれこめばチャンスはある。</li> <li>・打たれたらどうしよう。負けてしまったらどうしよう。</li> </ul> <p>○ボールを拾い上げ、あたりの様子を確認している間が「ぼく」には永遠のように感じられたのはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見つかったらどうしようという思いと焦りが、短い時間を長く感じさせたから。</li> <li>・一刻も早くその場から逃げ出したかったけど、その間にいろんなことを考えたから。</li> </ul> <p>○ベンチに戻った「ぼく」の様子から、心の中を察してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なんてことをしてしまったのだろう。</li> <li>・ごまかしてまでオレは勝ちたいのか。</li> <li>・みんなに本当のことは言えない。</li> </ul> <p>◎新幹線に乗り込み、うつむいた「ぼく」に声をかけるとしたら、あなたは何と云うだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・終わった事だからくよくよなくていいよ。</li> <li>・判断は審判がするんだから、気にしなくていいよ。</li> <li>・これは試合なんだから仕方ない。だけど、悩むという正直な気持ちは大切にして欲しい。</li> <li>・今度その経験を生かせばいいと思うよ。</li> </ul> <p>○今日の授業にタイトルをつけて、感じた事、考えたことをまとめてみよう。</p>	
関 連	1 - (3)、1 - (4)、4 - (4) 心のノート70～73ページ 球技大会	
授 業 改 善 の た め に		

9月	第4週	【主題名】ともに生きる社会
【資料名】迷惑とは何ぞ		【内容項目】4－(3)
【ねらい】社会連帯の自覚を深め、互いにいたわり助け合う、よりよい社会をつくろうとする実践意欲を培う。		
【主題構成の理由】公共の場で野身勝手な振る舞いがいかに迷惑かは分かっている、必ずしも自制できているとはいえない。「誰にも迷惑をかけてないし」という言葉が、生徒の言い訳の中に登場することもある。「人に迷惑をかけるな」と言われている迷惑とは、規則を遵守せず、他人の権利を侵害したり、自己の義務を放棄することであって、助けを必要とする人が助けを求め、助けを受けることは「迷惑」とはちがう。人は関わり合い、支え合いながら生きている。「迷惑」という言葉を通して、互いに協力し合い支えあう大切さを考えることを通して、進んでよりよい社会づくりに関わろうとする意欲を育みたい。		
展 開 の 大 要	<p>○自分が「迷惑だな」と感じた事はあるだろうか。そのとき、どんな気持ちだっただろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院の待合室で子どもが走り回っているとき。みんなが具合が悪いのに。静かにして欲しい。</li> <li>・細い通路で人が立ち話をしているとき。急いでいるのに。</li> </ul> <p>○少女の母親は、どんな気持ちで少女を家に閉じ込めていたのだろうか（資料前半）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・娘の姿を人に見せたくないし、じろじろ見られると娘がかawaiiそう。</li> <li>・人に迷惑をかけたくない。</li> <li>・何かするたびに人の手を借りなければならないから。</li> </ul> <p>◎あなたがこの少女に、一言アドバイスをおくるとしたら、どんな言葉をかけるだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あなたは自分らしく生きればいいんだよ。</li> <li>・あなたを助けてくれる人は必ずいるはず。</li> <li>・みんな、誰かに迷惑をかけて生きているんだよ。心配しなくていいよ。</li> </ul> <p>○「迷惑をかければいいのか」というアドバイスはどんな思いから出た言葉だったのだおろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害のある人を助けるのは当然だ。</li> <li>・この世に迷惑をかけないで生きている人なんていない。</li> <li>・だれもが支え合って生きているのだ。迷惑をかけるのはお互い様だ。</li> </ul> <p>○「泣く者をと共に泣く人間」とはどんな人間か。「互いに重荷を負う」生き方とはどういう生き方だろうか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の立場に立って物事を考えられる思いやりのある人間。</li> <li>・相手の苦しみをわが身のこととして考え、助け合い支え合う生き方。</li> </ul> <p>○心のノート 91 ページを読む。</p>	
関 連	2－(2)、2－(3)、心のノート 91 ページ 体育祭、文化祭	
授 業 改 善 の た め に		

10月	第1週	【主題名】よりよい社会の実現
【資料名】地下鉄で		【内容項目】4-(3)
【ねらい】よりよい社会の実現は一人一人の行動によって成り立つことを知り、積極的にかかわろうとする実践意欲を培う。		
【主題構成の理由】中学生になると、周囲の目を意識したり、多くの意見や考えに流されたり、自己中心的な行動をとることが多くなり、不正な行動やいじめ、差別的言動が目のおこっても、内心はいけないと思いつつも勇気を出して止めるなど正義の実現に消極的になることもある。よりよい社会を実現するためには、正義を愛し、自他の不正や不公平を許さない姿勢と力を合わせる心を育てたい。		
展開の 大 要	<p>○心のノート90・91ページのようなことはあるかな。</p> <p>○筆者が、「荷物をもってやろうかどうか迷いつづけた」のはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目立ちたくないから。</li> <li>・自分だけ格好つけているように思われたら嫌だから。</li> <li>・勇気がなかったから。</li> </ul> <p>◎筆者が感じた「少女たちのなかにある美しさ」とは何だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分ができなかったことを、少女たちがさわやかに実行したこと。</li> <li>・お年寄りへの思いやりの心。</li> <li>・押し付けない親切さ。</li> <li>・まわりへの気配りと実行力。</li> </ul> <p>○筆者は、少女たちに何と言いたかったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思い込みだけで勘違いして悪かった。</li> <li>・何もできなかったので恥ずかしい。</li> <li>・みんな素晴らしいよ。</li> </ul> <p>○今日の資料の中で、一番印象に残ったところはどこだろう。理由もあわせて考えよう。</p>	
関 連	2-(2)、4-(4) 心のノート90・91ページ	
授 業 改 善 の た め に		

10月	第2週	【主題名】 家族への敬愛
【資料名】 一冊のノート (中学校「読み物資料とその利用・4」文部省刊)		【内容項目】 4-(6)
【ねらい】 父母、祖父母に敬愛の念を深め、家族の一員として積極的に協力していく態度を育成する。		
【主題構成の理由】 中学生の時期は、ちょっとした忠告や叱責が、あたかも自分の全てを否定されたように思えて、反抗したい気持ちになる。家族から距離をおこうとするのは、人間としての成長の一過程である。反抗期独自の家族との関係は、生徒にとってさまざまであるが、自分があるのは、祖父母や父母があり、そのかけがえのない子どもとして深い愛情を持って育ててくれたことによる。この時期に、家族に対して敬愛の念を深め、自分と家族とのかかわり、家庭生活のあり方が人間としての基礎であることを十分に理解させたい。		
展開の概要	<p>○「ぼく」が祖母のノートを読んだ時の思いを想像してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こんなに自分たちのことを考えてくれていたのか・</li> <li>・今までおばあちゃんに対して本当にひどいことをしてきた。</li> <li>・自分はおばあちゃんのことをちっとも考えていなかった。</li> </ul> <p>○ノートを読むまで「ぼく」は祖母に対してどのような思いを抱いているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・忘れっぽくて困る。</li> <li>・余計な事をしないで欲しい。</li> <li>・友達に笑われると、自分が笑われているようで恥ずかしい。</li> </ul> <p>◎だまって祖母と並んで草をとる「ぼく」は心の中でどんなことを考えていたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごめんね。 ・ありがとう。</li> <li>・赤ん坊のころからぼくをみていてくれたんだね。</li> <li>・ぼくらの言葉でたくさん傷ついていたんだね。</li> <li>・もうあんなひどいことは言わないよ。これからも長生きしてね。</li> </ul> <p>○どうしてそういう思いになったのだろう。</p> <p>○心のノート104・105ページを読み、この時間に考えたことをまとめよう。</p>	
関連	2-(2)、3-(2) 心のノート104・105ページ	
授業改善のために		

10月	第3週	【主題名】郷土に尽くす
【資料名】アップルロード作戦		【内容項目】4-(8)
【ねらい】地域の一員であることの自覚を深め、郷土の発展に尽くそうとする実践意欲を培う。		
【主題構成の理由】生徒たちは、近所の人に出会うとあいさつはするが、ともに行動し、働くなど地域で連帯意識を身につける機会は乏しい。従って一般に郷土に対する意識や先人に対する尊敬、感謝の念を深めることが難しいのが実情である。人はかかわり合い、助け合い、社会の中で生きているという自覚を持つことで、社会連帯意識を持ち、より良い生き方を求めていくものである。地域における自己の立場に気づかせ、多くの人々との関連の大切さを知らせるとともに、郷土の文化や伝統に触れ、自ら積極的に郷土の発展に尽くそうとする実践意欲を培いたい。		
展 開 の 大 要	<p>○いま住んでいる場所で、自慢できると思うものをあげてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然が多い。 ・祭り</li> </ul> <p>○東中の生徒たちが「りんご並木」をつくりたいと思ったのは、どうしてだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大火で焼けてしまった町を美しくしたかったから。</li> <li>・みんなで町に協力できることをやってみたかったから。</li> <li>・大火事のあとで、町の人々を元気づけたかったから。</li> </ul> <p>○町の人々が「無理解、無協力」なのに、つらい作業を続けたのはどうしてだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・せっかくはじめたのに、やめてしまったら意味がないと思ったから。</li> <li>・続けていれば分かってくれる人も出てくる。←分かってくれる人がいると何が違うのかな。</li> <li>・この町をきれいにしたいという思いが強かったから。</li> </ul> <p>○懸命にりんご並木の世話を続ける東中生を見て、町の人たちはどんなことを思っただろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・頑張っているな。頑張れよ。</li> <li>・ずっと続けるということは、彼らの思いは本物なのだな。</li> <li>・手伝えることはないかな。</li> </ul> <p>◎「ぼくらは理想をかかげてたった」とあるが、この理想とはどんなものだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくたちの町のアップルロードをつくろう。</li> <li>・多くのりっばなりんごを実らせたい。</li> <li>・東中生のみんなで力をあわせて頑張ること。</li> <li>・郷土の人々が誇れるような美しいりんご並木をつくりたい。</li> </ul> <p>○あなたが、今住んでいるところに対してできることはあるだろうか。</p>	
関 連	4-(7)、4-(9) 地域の行事(祭り、社会体育大会)	
授 業 改 善 の た め に		

10月	第4週	【主題名】役割の自覚
【資料名】明りの下の燭台		【内容項目】4-(1)
【ねらい】自己の属する集団を愛する心を育て、集団の一員として進んで役割を果たし集団生活の向上に努めようとする意欲を養う。		
【主題構成の理由】生徒たちは、学級や学校などの集団生活の中で、それぞれの役割を持っている。しかし、自分の役割に不満を持ったり、自分の仕事を嫌がったりすることもある。文化祭をひかえるこの時期に、集団のあり方について理解を深め、集団規律を守り、各人が成員としての役割と自覚を自覚し、目標の達成に向かって全員が協力する姿勢を育てたい。		
展開の概要	<p>○自分の「役割」で気がつくことをあげてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健委員だけど、ときどき観察チェック表をとりに行くのを忘れてしまう。</li> <li>・3年生が部活動を引退し、部長としてがんばっている。</li> </ul> <p>○監督から、マネージャーをやってくれないかといわれた時、鈴木さんはどんな気持ちだっただろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分は選手としてプレーしようと思ってやってきた。それができないなら、ここにいる意味がない。</li> <li>・くやしい。悲しい。</li> <li>・悲しいけど、新しい任務のためにベストをつくそう。</li> <li>・みんなといっしょに、自分なりの戦い方をしよう。</li> </ul> <p>◎鈴木さんは、どのような気持ちでマネージャーを引き受け、その仕事に打ち込んだのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームが勝つことが自分の喜びである。</li> <li>・選手の気持ちが分かる私にしかできない仕事があるはずだ。強いチームをつくるために全力を尽くしたい。</li> <li>・「やるのが楽しかったから、苦労とは思わなかった」といっているが、苦労と努力があったはずだ。</li> </ul> <p>○今日みんなで話し合った授業にタイトルをつけてみよう。また、その理由を話し合ってみよう。</p>	
関連	1-(3)、心のノート82・83ページ 体育祭、文化祭、学級組織、生徒会	
授業改善のために		

11月	第1週	【主題名】感謝
【資料名】夜の果物屋 中学道徳明日をひらく2・東京書籍		【内容項目】2-(6)
		【ねらい】多くの人々の善意や支えにより、日々の生活や現在の自分があることに感謝し、それにこたえようとする態度を育てる。
		【主題構成の理由】多くの人々の善意や支えにより、日々の生活が成り立ち、現在の自分がある。文化祭の活動では、具体的に支援してもらったことに対しては感謝の気持ちを伝える事ができる。しかし、自分の存在に深く関わることになると、うまく感謝の気持ちを表現できないこともある。しかし、自分の心の中の感謝の気持ちを素直に伝えることで人間関係が潤ったり、心の絆を強くしたりする。4や3の視点とも関連を図りながら指導したい。
展開の概要		<p>○親切にしてもらってうれしかったことはあるだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試合に負けて落ちこんでいるときにペアが励ましてくれた。</li> <li>・忘れ物をとどけてくれた。</li> </ul> <p>○果物屋のおばさんが、コンクールの課題曲を歌っていたのはどうしてだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎晩少女の歌をきいていたから。</li> <li>・夜遅く帰る少女を気遣っていたから。</li> <li>・少女が通り過ぎるのを、歌で判断したから、いつのまにか覚えてしまった。</li> </ul> <p>◎「店の明かりがあんなに温かく見えたのは、当然だ」といっているが、それはなぜだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことを心配してくれていたから、心の温かさを感じた。</li> <li>・商売には関係なく、思いやりでともしてくれた明かりだったから。</li> <li>・今日もついていてほしいという期待があったから。</li> <li>・<u>素直に明りに感謝しているから。</u></li> </ul> <p>○普段は感謝ってなかなか伝えられなかったりするけど、感謝の気持ちを持っていることはありますか。</p>
関連		心のノート 44 ページ
授業改善のため		

11月	第2週	【主題名】自然の愛護、畏敬の念
【資料名】 アラスカの大平原をゆくカリブーの大群 中学道徳2明日をひらく（東京書籍）	【内容項目】	
【ねらい】 自然の美しさや偉大さに触れ、生命の大切さを感じながら、自然とともに生きようとする心情を育てる。		
【主題構成の理由】 自然の偉大さや自然の恩恵をふだん意識することは少ない。しかし、われわれは自然の恩恵を受け、自然に生かされている存在であるといえる。ともに生きる厳しい関係と生かし生かされあう微妙な関係を考えさせるとともに、大自然の美しさや偉大さに感動させたい。		
展 開 の 大 要	<p>○「大自然」という言葉から、どのようなことを思い浮かべるだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アフリカの自然、世界自然遺産、ジャングルなど</li> </ul> <p>○作者は数万頭のカリブーの真ただ中になら、どんなことを感じたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こわい。      ・自分のちっぽけさを感じた。      ・孤独を感じた。</li> </ul> <p>○2頭のカリブーの写真と白熊の写真をもとに、大自然に生きる生き物の関係について話し合ってみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2頭のカリブーはリラックスしているように感じる。かわいい。</li> <li>・白熊がカリブーをしとめて、笑っているようだ。      ・これが自然のルールだ。</li> </ul> <p>○38ページの赤く染まった雲の写真から、どんなことを感じるだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリブーのつものようだ。 血で空が染まっているようだ。</li> <li>・自然はただあるだけなのに、いろいろな見方や感じ方ができる。</li> </ul> <p>◎この資料をとおして、自然の厳しさ、美しさ、偉大さについて感じるところがあれば話し合ってみよう。</p> <p>○自然って「すごいな」「すばらしいな」「不思議だな」と感じた事があれば発表してみよう。</p>	
関 連	心のノート 64・65 ページ 3 - (1) 生命の尊重	
授 業 改 善 の た め に		

11月	第3週	【主題名】法の遵守
【資料名】父の借金 中学生の道徳2自分を考える・あかつき		【内容項目】4-(1)
【ねらい】法やきまりの意義を理解し、自らの義務を果たして秩序と規律ある社会を実現しようとする態度を育てる。		
【主題構成の理由】社会の秩序と規律を守ることによって、個人の自由が保障されるという事を理解することは大切である。また、社会生活の秩序と規律を維持するためには、一人一人が他の権利を尊重し、自らの義務を確実に果たそうとする態度を育成することが重要である。権利と義務の関係を、公私のかかわりや社会での自分の立場、自己の利害得失に固執せずに社会をよりよくしようとする気持ちなどから考えるように指導したい。		
展開の概要	<p>○人から借りたものはありますか。また、人に貸したものはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消しゴムやペンを借りた。</li> <li>・CDを貸した。</li> <li>・焼いたCDだからいいだろうと思った。</li> <li>・貸したものはちゃんと覚えている。</li> </ul> <p>○父の借金を、筆者やその家族たちがどうしてもお返しせねばと思ったのはどうしてだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お金を借りたら、返すのは当然だ。</li> <li>・お金を返さないと、貸した人が困るから。</li> <li>・自分たちには、父の借金を返す義務があると思うから。</li> </ul> <p>◎KさんにもMさんにもお金を返した筆者をどう思うか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Mさんには返すけれど、自分なら絶対にKさんに返さない。</li> <li>・借りたのだから返して当然だ。</li> <li>・自分たちの生活が楽なわけでもないのに返すなんてえらい。</li> </ul> <p>○Kさんにも本当にお金を返してもよかったのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もしかしたらKさんが嘘をついているかもしれない。</li> <li>・振り込めサギかも。</li> <li>・約束は約束だから返すべきだ。</li> </ul>	
関連	心のノート p. 86～89 2-(2)、4-(3)、4-(4) 社会科公民「民主政治と政治参加」	
授業改善のために		

11月	第4週	【主題名】健全な異性観
【資料名】「たまたま女に生まれてだけ」		【内容項目】2－(4)
【ねらい】男女平等の原則に立って、男女は、互いに異性についての正しい理解を深め、相手の人格を尊重し、豊かな社会を築いていこうとする心情を育てる。		
【主題構成の理由】互いに異性についての正しい理解を深めることは、互いに相手のよさを認め合うということである。人間の社会が男性と女性によって成り立ち、独立した人間それぞれの個性が尊重され、互いに生かされ合うことによって望ましい社会生活が営まれる。中学生の時期は、異性に対する関心が強くなるが、これは極めて自然なことである。しかし、学年が上がるにつれ、異性に対する感情や考え方に大きな差異が見られる。また、異性に対する関心やあこがれは、様々な形で現れ、メディアにも影響されやすい。学校においては、異性の特質や違いをきちんと受け止め、相手の人格を尊ぶ姿勢を育成することが重要である。		
展 開 の 大 要	<p>○「男の子なんだから」とか、「女の子のくせに」「女の子らしく」と言われたことはないだろうか。</p> <p>○「社会は男のもの」か。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女の子は「いくら成績がよくても、いくら体力があっても、男にはかなわない。」</li> <li>・「世間に出たら、やっぱり男の人中心だ。」</li> </ul> <p>○女は損か。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男の子に生まれてくればよかったのに。</li> <li>・「りくつっぽい女は好かれないよ。」 ・「しつこい女も好かれないよ。」</li> </ul> <p>○「みんな」とはどういうことか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんながそう言っている。」 ・「みんな」に好かれない。</li> <li>・「みんなってだれとだれとだれ？それとも世界じゅうのすべての人に、という意味？」</li> </ul> <p>○「男のくせに」「女のくせに」という偏見。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の都合や立場で相手に押し付けている根拠のない常識。</li> </ul> <p>◎作者が『「たまたま」についてもっとしんげんに考えてみよう』といっているのはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人はたまたま男あるいは女として生まれてくるだけだ。</li> <li>・もともとと同じ人間だし、本来、平等である対等だ。</li> <li>・先入観で人を判断してはいけない。</li> </ul> <p>○心のノート 53 ページを記入する。</p>	
関 連	心のノート 53 ページ「互いの力で成り立っている」 4－(4)	
授 業 改 善 の た め に		

12月	第1週	【主題名】 苦難に耐えて
【資料名】 まつばづえ (文部省「道徳資料の手引き」)		【内容項目】 1－(2)
【ねらい】 物事に積極的に取り組み、困難に直面しても、屈せずに粘り強く最期までやり通そうとする態度を育てる。		
【主題構成の理由】 人間としてよりよく生きるには、目標や希望を持つことが大切であるが、それはたとえ小さな目標であっても、達成されたときは満足感を覚え、自信と勇気が起こる。このような達成感はそのより高い目標に向かって努力する意欲を引き起こす。中学生の時期は、自分の好む事や価値を認めたものには意欲的に取り組む態度が育ってくる。しかし、障害や困難に直面すると、簡単に挫折し物事をあきらめてしまうこともある。昨日より今日、今日より明日と、目標の実現に努力しようという姿勢があつて初めて困難を乗り越えられる。勇気と希望をもってその実現に努力する強い意思を育てたい。		
展 開 の 大 要	<p>○前回の中間テストに計画的に取り組めただろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりにできた。　・計画の半分もできなかった。</li> </ul> <p>○計画が達成できなかった理由は何だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画に無理があつた。　・自分の意思が弱かつた。</li> </ul> <p>○作者が、「まき」を使ってまで歩こうとしたのはどうしてだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほかの人と同じように歩きたいと思ったから。</li> <li>・小児まひのため、8歳になるまで歩けなかつたのでくやしい思いをしてきたから。</li> <li>・歩く事さえできれば、学校へ行けるようになってしまったから。</li> <li>・何としても学校へ行って勉強をしたいと思ったから。</li> </ul> <p>◎作者が、命がけで勉強しようと思つたのは、どのような気持ちからか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までいろいろな困難に耐えてきたのだから、これかれも命がけでがんばろう。</li> <li>・体の不自由な自分をこおまで育ててくれた感謝の気持ち。</li> <li>・母の思いを考えると、命がけで勉強して、恩返しをしたいと思ったから。</li> </ul> <p>○心のノート 21 ページ「くじけそうときどうする？」を記入し、発表する。</p>	
関 連	心のノート 20・21 ページ 1－(4)	
授 業 改 善 の た め に		

12月	第2週	【主題名】公害に抗して
【資料名】渡良瀬川の鉍毒 (中学道徳2明日をひらく)		【内容項目】4-(4)
【ねらい】社会連帯の自覚を持って正義を重んじ、公共の福祉とよりよい社会の実現のために尽くそうとする心情を養う。		
【主題構成の理由】人間がよりよい社会へと発展していくためには、すべての人が、正しい事は正しいとし、連帯の精神で生活していくことが大切である。しかし、観念的には分かっているが、現実には態度や行動となりにくい。足尾銅山の鉍毒問題は、過去の出来事であるが、今日的・現実的な課題とも通じる問題でもある。田中正造の生き方を通じて、正しいと信じることを積極的な行動で示すことの大切さを指導したい。		
展開の 大要	<p>○公害について、知っていることを発表しよう。それについてどう思うか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・酸性雨　・水俣病　・四日市ぜんそく</li> </ul> <p>○田中正造が、足尾銅山鉍毒反対の運動をおこしたのはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの苦しんでいる様子に我慢できなかったから。</li> <li>・政府が村の人々のことを考えていなかったから。</li> <li>・政府が金とひきかえに、鉍毒問題をもみ消そうとしたから。</li> </ul> <p>○そのような政府の対応について、あなたは思うか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いくら日本の重要な輸出品でも、お金でもみ消すのはひきょうだ。</li> <li>・国民あつての国じゃないのか。</li> </ul> <p>○1898年の洪水の処置に不満を示した農民の実力行使を止め、議会でたたかうべきだと考えたのはなぜだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・暴動を起こしても、根本的な解決にはならないから。</li> <li>・農民たちを犯罪者にしたくないから。</li> <li>・議会でたくさんの人にこの問題を知ってもらおうほうがいいから。</li> </ul> <p>◎田中正造が、衆議院議員をやめて鉍毒問題に打ち込もうとしたのは、どのような考えからか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい内閣も期待はずれで、これ以上政府に期待しても無駄だと思ったから。</li> <li>・農民の生活を一番に考え、自分の手で解決したいと考えたから。</li> <li>・今できることを農民とともにしなければならぬと考えたから。</li> </ul> <p>○身近な問題をあげ、その解決のために自分たちでできることを話し合おう。</p>	
関連	心のノート 97 ページ 1-(2)	
授業改善のために		

1 2 月	第 3 週	【主題名】人間の尊厳
【資料名】奇跡の一週間		【内容項目】3 - (1)
【ねらい】人間の強さや気高さを知り、命の尊厳や生きることの意義を学ぶことを通して、心豊かにたくましく生きようとする心情を育てる。		
【主題構成の理由】核家族化が進行するなどして、生徒たちは身近な人の死を経験することが少なくなり、死を自分にはかかわりのないもの、避けたいもの、忌まわしいものと考えがちである。将来の生き方について考え始めるこの時期に、命の尊厳や有限の人生を最期まで誠実に生き抜くことの意義について、しっかり考えさせたい。		
展 開 の 大 要	<p>○ホスピスを知っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知らない。 ・ホスピタルなら知っている。</li> </ul> <p>○「狐の子どものさし絵をかいてくれませんか。」とお願いした時、「わたし」はどんな気持ちだったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分がつくった童話に、美しくてユーモアいっぱいの北村さんの絵を使いたい。</li> <li>・北村さんがかいたさし絵が入った童話だったら、痛み止めの薬を使わない人も読んでくれそうだ。</li> </ul> <p>○北村さんにさし絵をかいてくれるようお願いしてから「後悔して」、その後「しんけんになって注文をつけた」のはなぜか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本当は、パソコンでの作業もつらいくらい体力が落ちていた。</li> <li>・新しい作品をつくる力などは、ほとんどなかった。</li> <li>・絵に感動して、北村さんの体調を深く考えずに軽い気持ちで頼んでしまった。</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい作品を二十点もつくるくらい北村さんは真剣だったから。</li> <li>・北村さんの思いに真剣に答えたかったから。</li> <li>・決して手を抜かない北村さんの姿勢に心打たれた。</li> </ul> <p>◎「北村さんは『死んでしまった人』じゃなくていっしょうけんめい『生きていた人』なのよ。」と言ったのはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北村さんの生き方を軽く扱われた気がしたから。</li> <li>・北村さんは作品をつくり上げるまで生き抜いたから。</li> <li>・九枚の作品は、北村さんが私たちとともに生きた証だから。</li> </ul> <p>○北村さんへのメッセージを書いてみよう。</p>	
関 連	<p>心のノート 76 ページ</p> <p>3 - (3)</p> <p>県教育センターデータベースに指導案</p>	
授 業 改 善 の た め に		

1 月	第 1 週	【主題名】
【資料名】 震災の中で (中学道徳 2 明日をひらく・東京書籍)		【内容項目】 4－(5)
【ねらい】 ともに支え合うことの大切さを自覚し、社会への奉仕を進んで実施しようとする態度を育てる。		
【主題構成の理由】 人間だれしも世のため人のために尽くしたいという思いはありながらも、「だれかがやるだろう」「なぜ自分が」という思いもある。勤労には、自らの目的を実現するために働くという面もあるが、社会分業によって社会を大きく支えている面もある。勤労や奉仕を通して社会に貢献するということを自覚し、充実した生き方を追求し実現していくことが、一人一人の真の幸福につながっていく。自分の進路や職業について関心が高くなっていくこの時期に、勤労の尊さや意義について考えられるとともに、働くことについての理解を通して職業についての正しい考えかたを育てることや公共の福祉に努めようとする態度を育てたい。		
展開の概要	<p>○阪神・淡路大震災の写真を見て感想を述べる。</p> <p>○「やっと自分のすべきことが見つかった」というが、作者はどのようにして人の役に立ちたいと思ったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「なんとかしなければ」と思い、このまま何もしない自分が許せなかったから。</li> <li>・周囲の人が精一杯やっているのに、自分はこのままではいけないと思ったから。</li> </ul> <p>○いくら頑張っても、奉仕の気持ちが伝わらないことに作者は何を考えていたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助け合っているのに、どうしてわたしたちが文句を言われなくちゃならないんだ。</li> <li>・被災で苦しい気持ちは分かるけど、あそこまで言わなくてもいいんじゃないのか。</li> <li>・追い込まれると人は自分勝手な気持ちになるのかもしれない。</li> </ul> <p>◎「人を救うのは人しかいない」という言葉が心を打ったのはどのようなことからだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たとえ苦情を言われても、目の前の困っている人を救えるのは、やはりこのわたしたちしかいない。</li> <li>・自ら人の役に立ちたいと決心したのだから、人間として責任を持って助け合うのは当然のこと。</li> </ul> <p>○作者はこの体験を通して、人間としてすばらしいものをつかんだと知っているが、どのようなものをつかんだのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・困っているときは、お互いに助け合う事が大切であり、世の中に役に立ちたいという気持ちを素直に出し、行動に表す事。</li> <li>・人の思いやりややさしさがこの世の中にはたくさんあることを知り、知らない人どうしても人と人との交わりの温かさを大切にすること。</li> </ul> <p>○「心のノート」100 ページを読んで、記入しよう。</p>	
関連	心のノート 100・101 ページ 2－(2) 生徒会活動	
授業改善のために		

1月	第 2週	【主題名】愛校心
【資料名】校門を掘る子 (中学生の道徳2自分を考える)		【内容項目】4-(7)
【ねらい】学校は自分たちの生活の場であるという自覚を深め、そのよさを自分たちでつくろうとする実践意欲を培う。		
【主題構成の理由】学校や学級で、自己の役割と責任を果たし、他者との人間関係を深め協力していく姿勢を養うことが、学校や学級への誇りや愛着につながるだけでなく、視野を広げ、心豊かに生活するための礎となる。仲間が集い、多くの時間を共有する場であるからこそ、自分自身が当事者としてよりよいものにしていこうとする気持ちを培いたい。		
展 開 の 大 要	<p>○鶴川中学校のいいところをあげてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんな挨拶がきちんとできる。 ・部活動が強い。</li> <li>・みんな仲がいい。</li> </ul> <p>○校門ができ、堂々と校門をくぐって登校するする生徒たちはどんな気持ちだったろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの学校に来た、という気持ちが強くなった。</li> <li>・校長先生のおかげだ。</li> </ul> <p>○吹雪の中で、どんな思いが女性とに校門を掘らせたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・せっかく校長先生がつくってくれたんだから、埋もれたままでは申し訳ない。</li> <li>・埋もれたままでは生徒として悲しい。</li> <li>・校長先生がつくってくれた校門だけど、私たちの校門でもあるんだ。</li> </ul> <p>◎筆者が卒業したその年から、校門が雪に埋もれることがなくなったのはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性との行いを見聞きして、校門は大切なものと思ったから。</li> <li>・校長先生の思いを受け継いでいきたいと後輩たちが考えたから。</li> <li>・校長先生や女生徒の思いが後輩たちに受け継がれ、学校の伝統になったから。</li> </ul> <p>○この女生徒が後輩たちに残したものは何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の学校に誇りを持つ気持ち。 ・自分の学校を愛する気持ち。</li> <li>・学校を大切にする伝統。</li> </ul> <p>○4月からはいよいよ最上級生です。自分の学校をもっとよくしていくには、どうすればいいだろう。考えをまとめてみよう。</p>	
関 連	<p>心のノート p. 106～109</p> <p>2-(3)、4-(1)、4-(8)</p>	
授 業 改 善 の た め に		

1月	第 3 週	【主題名】正しい異性理解
【資料名】アイツとセントバレンタインデー 中学生の道徳 2 自分を考える		【内容項目】2 - (4)
【ねらい】異性の特性や違いを正しく受けとめ、ひとつの人格としてその尊厳を重んじようとする態度を育てる。		
【主題構成の理由】家庭においても職場においても、男女の個性が尊重され、生かし合うことによりよい関係が構築され、理想的な生活が実現される。男女は人間として対等である一方、異なる特性を持つ存在であることを正しく理解し、互いにそのよさを認め合うことが大切である。男女の友情や交際においても、相手を正しく理解し、その人格を尊重することで信頼と敬愛の念が生まれる。		
展 開 の 大 要	<p>○異性の好きなどころ、嫌いなどころをあげてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男の子に対して（運動神経がいい、行儀がわるくてもおこられない、服装とかが楽/うるさい、乱暴、いじっかしい、しつこい）</li> <li>・女の子に対して（きれい好き、かわいい、やさしい/うるさい、すぐかたまる、やさしくない）</li> </ul> <p>○真一についてどう思うだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若松綾子にチョコレート返すのはひどいと思う。</li> <li>・チョコレートは受け取ってもいいと思う。それは裏切った事にならないと思う。</li> <li>・夏樹よりも若松綾子の方がうまいと思う。</li> </ul> <p>○夏樹に対してどう思うか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いきなり「さよなら」はないと思う。</li> <li>・なつきは怖い。</li> <li>・真一のことをもっと信じてあげてもいいと思う。</li> <li>・電話に出ても話をきこうとしない夏樹はひどい。</li> </ul> <p>◎もし自分が二人の友達だったら、どんなアドバイスをするだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・真一へ・・・あきらめなければ、きっと分かってくれるよ。</li> <li>・夏樹へ・・・もっときちんと話し合った方がいいよ。二人の気持ちがすれちがっているだけだよ。</li> <li>・二人へ・・・結局二人とも自分のころしか考えていないと思う。相手の気持ちをお互いがえようよ。</li> </ul>	
関 連	心のノート 50～53 ページ 2 - (2)、2 - (3)、2 - (5)	
授 業 改 善 の た め に		

2月	第 1 週	【主題名】 生命の尊さ
【資料名】 ジョン (はれた日は学校を休んで・双葉社)		【内容項目】 3 - (1)
【ねらい】 生命の尊さを深く自覚し、自他の生命を尊重する態度を育成する。		
【主題構成の理由】 生命は、かけがえのない大切なものである。生命あるものは互いに支え合って生き、生かされている。命は大切なものであるということは、理屈では理解している。しかし、その重みまでをどれだけ感じているだろうか。人間の生命のみならず、身近な動植物をはじめ生きとし生けるものの生命の尊厳に気づかせ、他の生命を尊重する態度を身につけさせたい。		
展 開 の 大 要	<p>○身近に「死」を経験したことはあるだろうか。</p> <p>○このお話を読んで感じた事を発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にも同じ経験がある。 ・「ぼく」は無責任だと思った。</li> <li>・ジョンがかわいそうだった。</li> </ul> <p>◎ぼくはどうして「ほっとして」泣いたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もう苦しまなくてもいいから。</li> <li>・もう世話をしなくてもいいから。</li> <li>・最期にやっとジョンと仲良くなれた気がしたから。</li> </ul> <p>○「心のノート」76 ページ「いつか終わりがあること」を読み、考えたことをまとめよう。</p>	
関 連	心のノート 76 ページ 1 - (3)	
授 業 改 善 の た め に		

2月	第 3 週	【主題名】国を愛する心
【資料名】国	【内容項目】4－(9)	
【ねらい】排他的な自国賛美ではなく、国際社会の一員としての自覚と責任をもって国を愛する心情を育てる。		
【主題構成の理由】我が国固有の優れた伝統と文化など、そのよさについて理解を深め、その価値を継承し新たな文化を創造していこうとする態度の育成をはかることは大切である。自国を愛することは国際社会の一員として自覚と責任をもって行動するための基盤であることを理解させ、自己と国との関わりを見つめ直させたい。		
展 開 の 大 要	<p>○王貞治さんについて知っていることはあるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界一のホームラン王</li> <li>・ダイエーホークスの監督だった人</li> <li>・WBC日本チームの監督</li> </ul> <p>○王さんが選挙について聞かれたとき、「選挙権がないんだよ」とさり気なく答えたのはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・質問した記者を傷つけないように。</li> <li>・それだけその記者が国籍を意識していなかったから。</li> <li>・記者に悪気はないと思ったから。</li> </ul> <p>○第一回国民栄誉賞をもらったことを王さんはどのように感じているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分ではなく、野球というスポーツを代表してもらったのだ。</li> <li>・日本国民としてではなく、日本国民が選んでくれたと考えたい。</li> </ul> <p>○王さんはなぜ帰化しないのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・父の思いを大事にしたいから。</li> <li>・父の祖国と母の祖国のどちらも大切にしたいから。</li> </ul> <p>◎王さんの言う「国に対する礼儀」とはどのようなものだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国旗が掲揚される時は起立ぐらいしたらどうかという気持ち。</li> <li>・自分を育ててくれたものに対する感謝の気持ち。</li> </ul> <p>○自分にとって、「日本」とはどんな存在なのだろうか。</p>	
関 連	<p>心のノート p114～p117 内容項目4－(6)、4－(10)</p> <p>社会科〔地理・歴史・公民〕、総合的な学習の時間〔国際理解〕</p>	
授 業 改 善 の た め に		

2月	第 4 週	【主題名】 国境を越えた愛
【資料名】 六千人の命のビザ (中学道徳2明日をひらく・東京書籍)		【内容項目】 4－(10)
【ねらい】 人間愛の精神を深く自覚し、国際的視野に立って世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を養う。		
【主題構成の理由】 国際化が進展し、すでに日本人が自分たちだけの幸せを追い求めることは不可能になってきている。したがって、将来の我が国を担う中学生には、日本のことだけでなく、国際的な視野に立ち、世界の中の日本人、世界の中の自分としての自覚を持つことが必要である。		
展 開 の 大 要	<p>○p. 93「Plus2」を見て、ユダヤ人の置かれた状況を理解する。</p> <p>○杉原さんが苦悩していることは何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユダヤ人を救うために、ビザを発行するかどうか。</li> <li>・外務省の命令に従うかどうか。 ・外務省の許可の上で、ビザを発行したい。</li> </ul> <p>○ユダヤ人は同盟国であるドイツから迫害されているのに、助ける必要があるだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どこの国の人であっても、命は大切だから、助けなければならない。</li> <li>・助ける必要はあるけど、外務省の命令もきかなければならない。</li> </ul> <p>○外務省の命令に背いたら、杉原さんはどうなるのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本に戻ったら犯罪者のようにあつかわれるかもしれない。</li> <li>・クビになるかもしれない。</li> </ul> <p>◎杉原さんが外務省の命令に背いてまでビザを発行したのはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の身分より、困っている人を救う事の方が大事だと感じたから。</li> <li>・戦争中であっても、目の前の人の命を救うのは人間として当然だと思ったから。</li> </ul> <p>○杉原さんの決意や行動から学んだことはどんなことだろうか。</p>	
関 連	心のノート 76 ページ 3－(1)	
授 業 改 善 の た め に		

3 月	第 1 週	【主題名】 他を思いやる心
【資料名】「先生にビールやっておくれ」 (中学生の道徳2 自分を考える・あかつき)	【内容項目】 2 - (2)	
【ねらい】 人の温かさを知り、他の人に対して感謝と思いやりの心をもって接しようとする態度を育成する。		
【主題構成の理由】 他の人とのかかわりの中で、温かい人間愛の精神を深め、これを身に付けることは人間としてきわめて大切な事である。人間は人間とのかかわりなしでは生きていけない生き物である以上、もっと他を思いやる心を大切にしていかなければならないことを自覚する必要がある。		
展 開 の 大 要	<p>○心のノート 44 ページを読む。</p> <p>○「お茶を飲んでけ」と言われた人たちは、どんな気持ちになっただろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・びっくりした。</li> <li>・ほっとした。</li> <li>・親切にされて温かい気持ちになった。</li> </ul> <p>○山根のばあが最期に「先生にビールやっておくれ」と言ったのを聞いて、病室にいた人たちはどのような気持ちになっただろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こんな時に何を言っているんだ。</li> <li>・いつものおばあちゃんの感じがした。</li> <li>・病院にいるのに家にいるような気持ち。</li> <li>・最期までおばあちゃんらしいなあ。</li> </ul> <p>○山根のばあの言葉は、なぜそのような気持ちにさせてくれるのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山根のばあは、いつもまわりにいる人のことを考えているから。</li> <li>・やさしくて、心配りが感じられるから。</li> </ul> <p>◎山根のばあの「黄色いハンカチの心意気」とは何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・だれにでも分け隔てなくやさしく接する心。</li> <li>・人に親切にするのが当たり前の生き方。</li> <li>・人に優しくすることで、人からもやさしくされる幸せな生き方。</li> </ul> <p>○この時間を終えて、「人と人とのつながりの温かいさ」について考えたことをまとめてみよう。</p>	
	関 連	<p>心のノート p. 44～p. 45</p> <p>3 - (2)、4 - (3)、4 - (6)</p>
授 業 改 善 の た め に		

3 月	第 3 週	【主題名】責任ある判断
【資料名】お前のカワウソが淋しがっているぞ (中学生の道徳2 自分を考える・あかつき)	【内容項目】1 - (3)	
【ねらい】自分にも社会にも常に誠実でなければならないことを自覚し、責任をもった行動をとる態度を育成する。		
【主題構成の理由】自ら考え、判断し、実行し、自己の結果に責任を持つことは、生き方の根源にかかわるものであり、社会生活の基盤になる。しかし、自らを律し、いかなるときも遂行することは極めて難しい。深く考えずに行動したり、責任を他人に押し付けようとする自分がいることも否定できない。誠実であることの大切さを自覚し、責任をもって行動できる態度を育成したい。		
展 開 の 大 要	<p>○学校や学級での自分の役割は何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予定を聞く係だけど、時々忘れる。</li> <li>・ 教科の係は忘れずにやっている。</li> </ul> <p>○目的なく故郷に向かう筆者は、どんな気持ちで汽車にゆられていたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ もう動物園で働くことはやめよう。</li> <li>・ こんなことなら県庁職員になればよかった。</li> <li>・ 残念だ。</li> <li>・ 無念だ。</li> </ul> <p>○筆者はどんな気持ちで実家に一日、二日と過ごしたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分が甘かった。</li> <li>・ もう動物園はやめよう。</li> <li>・ 何も考えたくない。</li> </ul> <p>◎父の言葉が稲妻のように心を貫いたのはなぜか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分のことしか考えていなかった。</li> <li>・ 仕事を休んでいる自分は何て無責任なんだ。</li> <li>・ そうだ、自分しかルトラを世話する人間はいないんだ。</li> </ul> <p>○ルトラがとびついて来たとき、筆者が流した涙にはどんな思いがこめられているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今まで放っておいてごめん。</li> <li>・ お前の世話はオレがずっとやるよ。</li> <li>・ 絶対試験に受かるからな。オレはがんばるよ。</li> </ul> <p>○今日の授業で考えたことを書きましよう。</p>	
関 連	<p>心のノート p. 22～p. 25</p> <p>1 - (2)、3 - (3)、4 - (1)</p>	
授 業 改 善 の た め に		